学校番号	112

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　新編「数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ⅰ＋A、フォローノートⅠ＋A　傍用型、 改訂版　［数学入門］　数研版　高校数学へのブリッジ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業用ノートと問題集用ノートを用意してください。
　問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察することができる。	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第１節　場合の数 1　集合の要素の個数 2　場合の数 3　順列 4　組合せ 研究　重複を許して作る組合せ	a:集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解できる。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 発表 レポート 振り返りシート　等	レポート 振り返りシート 提出物　等

		第2節　確率 5　事象と確率 6　確率の基本性質 7　独立な試行と確率 8　条件付き確率 9　期待値	a:確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b:確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c:解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 発表 レポート 振り返りシート　等	レポート 振り返りシート 提出物　等
2学期	第2章　図形の性質	第1節　平面図形 1　三角形の辺の比 2　三角形の外心･内心･重心 3　チェバの定理･メネラウスの定理 研究　三角形の辺と角 4 円に内接する四角形 5 円と直線 研究　方べきの定理の逆 6 2つの円 7 作図 研究　正五角形の作図 研究　図形描画ソフトを活用して作図の方針を立てる	a:三角形、円、空間図形に関する基本的な性質について理解し、知識を身に付けている b:図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的･発展的に考察することができる。 c:解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 発表 レポート 振り返りシート　等	レポート 振り返りシート 提出物　等
		第2節　空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 研究　正多面体の体積 研究　正多面体の種類		確認テスト 定期考査	定期考査 発表 レポート 振り返りシート　等	

3学期	第3章　数学と人間の活動	1　約数と倍数 2　素数と素因数分解 3　最大公約数･最小公倍数 4　整数の割り算 5　ユークリッドの互除法 6　1次不定方程式 7　記数法 8　座標の考え方 9　ゲーム･パズルの中の数学	a:数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解し、知識を身に付けている。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関りについての理解を深め、知識を身に付けている。 b:数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ、考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見いだし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 c:解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	定期考査 発表 レポート 振り返りシート 等	レポート 振り返りシート 提出物　等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度